

## 第2回小中合同代表者会

・日時 11月21日(火)19時～20時半 ・場所 鈴鹿市ふれあいホール

11月21日(火)第2回小中合同代表者会を開催しました。  
今回は、津市PTA連合会の木原剛弘会長、中西洋智副会長、本橋良介副会長にお越しいただき、テーマを「PTAの役割と必要性」として、お話しいただきました。

### (1)津市PTA連合会の活動について

子ども未来交流会や子どもロケット体験教室、中学校バレーボール大会、幼稚園部会等、色々なイベントをしつつ、PTA役員の方に無理にならないように、できることをやっていく。  
スマイルワークでは小学校入学等で不安に思うこと、中学校の交流会ではタブレット学習についての他に、部活動での地域の不安に思うこと、タブレットでどんなことをやっているか実際にやってみる一等を行っている。

### (2)PTAの趣旨

家庭と学校と社会がその責任を分け合う。

### (3)市P連とは

「つながろうPTA 子ども達の輝く未来のために」をスローガンに、子どもたちも先生も幸せになるため、子どもに不利益がないように未来に向けて動いていく。

### (4)これからのPTAを考える

令和の日本型学校教育、すべての子ども達の可能性を引き出す個別最適な学び、日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上、持続可能な社会の創りでの育成、昭和から令和に教育もシフトチェンジするための原点回帰と見つめ直しを行う。

### <木原会長から最後に>

PTA役員の皆も同じ仲間と思って、一人一人少しずつでいいので、力を貸してもらいたい。目の前だけでなく、未来の子ども達のことを考え、できることを無理のない範囲で参加をお願いします。

### ～参加者アンケートから～

- ・他市の活動を知ることができた。自校の活動にも取り入れてみたい。
- ・学校と保護者と地域をつなぐPTAは大切だと感じた。
- ・PTAについて知らないことがたくさんあった。PTAの必要性を感じられた。
- ・PTAに対する考え方を改めさせられた。
- ・活動に出られる人が出られるタイミングで無理なくという方向性を再認識できた。
- ・現状維持ではなく、変革していかなくはPTAの存続は厳しい。
- ・教員と保護者どちらかに依存するのではなく、子どもに関わる責任を等分するという考え方を改めて確認できた。

### <まとめ>

今回の席はブロック別に座るのではなく、席を決めずに座っていただき、閉会後の少しの時間に意見交換行いました。  
話したことのない人とは話しづらいという意見もありましたが、ほとんどの皆さんは和気あいあいと話されておられました。  
PTAをやめる等の難しい問題もありますが、最後は子ども達にとって何が最善になるかということを確認することができる会議になりました。

